

学術講演会の御案内

演題

新しい脳内活性物質としての神経ステロイド
- 学習記憶促進と虚血性傷害保護作用 -



演者

日本生物物理学会会長

曾我部 正博 先生

名古屋大学・大学院医学系研究科 教授

(併任) JST・ICORP/SORST・細胞力覚；

生理研・分子生理

日時：

4月18日(金) 17:30 ~ 19:00

会場：旭川医科大学 機器センター3F

カンファレンスルーム

(開場 17:00)

本講演会は、大学院講義を兼ねて開講します

学外からの御来聴大歓迎です

演者略歴

北海道上川郡比布町出身

1973年 大阪大学基礎工学部・生物工学科(大沢文夫研)卒

1992年より名古屋大学教授

研究室ホームページ: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/physiol2/>

演者自身による講演内容紹介

最近になって、エストロゲンを始めとした様々なステロイドが脳内で合成され強力に多様な神経作用因子として働くことが明らかになってきた。その合成分泌機序には不明な点が多いが、脳内濃度低下と老人性痴呆症の相関、ストレス時における合成促進などが知られている。一方神経ステロイドを外部投与すると学習記憶能力が著しく促進したり、虚血性神経傷害を防止することが分かっている。我々は最近ある種のステロイドは脳虚血発症後に投与しても十分に保護作用を示すという注目すべき結果も得ている。本講演では、外部投与した神経ステロイドの海馬シナプス可塑性に対する効果の詳細な解析を通して、この物質の学習記憶促進作用や脳虚血傷害保護作用の分子機構について議論する。

照会先： 生理学講座・自律機能分野 高井 章

0166-68-2320 または 2322

physiology1@asahikawa-med.ac.jp

協賛：日本生物物理学会北海道支部・日本生理学会北海道地方会（順不同）